

学年	氏名	2026年度の目標		今年度の意気込み	陸上競技部における部員の目標・オリジン	
		記録	戦績		在学中の目標	目標達成の理由
4	大江田 琉偉	やり投: 70.00m	九州IC 3位入賞 日本IC 入賞	70mスローで入学当初からの目標であった日本IC入賞を果たす。充実した環境でやり投に対する知見を深める。	4年次に男子やり投にて、9月に開催される日本ICで70mを超える投ぎをし、全国の舞台で6投投げ、8位以上入賞を成し遂げる。高校時から目標である70mの投ぎと全国入賞を果たす。	これまで応援や支援をしてくれた方々を喜ばせ、恩返しをしたい。努力で入賞成長できるということを証明したい。
4	外園 康進	砲丸投: 14.00m (鹿児島県選手権)	鹿児島県民大会3連覇 (現在2連覇中)	大学最後のシーズンかつ、陸上競技人生最後のシーズン。無事に競技を終えられればOK。14m投げればPerfect。陸上競技人生を最後まで楽しみながら終える。	今年が陸上競技人生のシーズンとなるが、最後に高校から投げられていない砲丸投での14mの壁を越えられるようにしたい。	高校3年次はH出場を達成したものの、IHの本戦では、思うような試合ができず引退してしまっ。大学で14mを投げることで、当時の悔しさを払拭するため。
4	大浦 宏文	砲丸投: 15.80m (9/5-7)	日本IC 8位入賞	「起源」競技者たる前よき人間たれ」に2つの言葉を胸に初全国入賞を掴み取ります！	4年次に、砲丸投で、9/5-9に行われる日本IC(横浜)で、15.80m以上投げて8位入賞すること。	目標の達成理由は、これまで積み重ねてきたものを結果という形で残すため。また小学生からスポーツをしてきて1度も全国大会入賞をしたことがなくこれまで自分ができなかったことを成し遂げるため。
4	濱田 玲将	砲丸投: 17.00m	日本IC 5位以内入賞	必ず日本ICで17m以上投げて、5位以内入賞を達成する。	私が競技部で成し遂げたい目標は、砲丸投において、4年次に全日本インカレで5位以内入賞、日本選手権入賞することである。また記録の目標は17.00mである。	高校でのインターハイ・団体7位という実績を超えるため。大学入学時に、瓜田先生に大学4年間でこの目標として宣言したから。
3	畑山 文	ハンマー投: 64.00m越え	日本IC A標準突破	今年こそ60.00m以上を投げて日本IC A標準突破いかせていただきます。	私が陸上競技部で成し遂げたい目標は3年次で64.00m以上を投げて日本IC入賞を目指す。4年次では70.00m以上を投げて日本選手権優勝する。	私は陸上競技を5年間続けてきてまだ自分の理想の投げができた試合がない。そのため残りの2年間を本気でやりきり、どんな結果であれ満足して卒業したいから。
3	平野 陽菜	やり投: 52.00m	日本IC 出場	入学時から目標として掲げている日本ICの出場権を得るために50mの壁を突破し、応援してくれている人たちの期待に応える。	3年次の目標は、やり投で8月に行われる鹿屋体育大学強化競技会で52.00mの記録を出し、日本ICに出場すること。4年次の目標は、やり投で日本ICに出場し、55.00m超えの記録で8位入賞すること。	3年次から全国の舞台を経験することで雰囲気や緊張感を知り、4年次にはトップ選手と競えるような選手になりたいから。また、全国入賞することで自分の競技人生の集大成として掲げられるような結果を残したいから。
3	内村 謙心	砲丸投: 16.00m	日本IC 出場	今年こそ日本ICに出場して全国の舞台を経験する。そのために、怪我なくしっかりと練習を積んで記録を伸ばす。	3年次: 西日本ICで15.50m、3位入賞。 4年次: 3月の春季記録会で16.50m。	両親への感謝と恩返しを気持ちで結果を示すために、日本ICや団体、日本選手権に出場したいから。
3	田邊 瑛信	やり投: 75.00m	日本IC 8位入賞	大事な場面でベストを出せる選手になる。	学年毎のICでやり投で75mで優勝。	全国大会で2位以上をとったことないから。
3	宮脇 幸哉	ハンマー投: 55.50m	九州学生選手権 入賞	今シーズンで必ず4回転を習得し、西日本IC標準突破する！	3年次: 55.50m(西日本IC B標準) 4年次: 58.50m(西日本IC A標準、西日本IC出場)	高校時代にインターハイ出場を逃したリベンジを果たし、西日本ICなどの大きな舞台で実力を出し切れる競技者を目指したいから。
2	池上 公貴	やり投: 60.00m	九州新人 入賞	今年こそ本番で過去一を出せる選手になる。	2年次: シーズン終了までに60m達成。(九州ICで戦うために) 3年次: 九州IC出場し、西日本ICの標準である64mも突破したい。 4年次: 西日本IC出場を達成したい。	高校時代に出場できなかった上位大会への出場を達成したいから。
2	宮田 渉平	ハンマー投: 50.00m		地道に努力を継続し、少しずつでもベストを出し続ける。	2年次: 50.00mを投げる。 3年次: 西日本ICの標準を切る。57.00mを投げる。 4年次: 標準切りの試合までに日本ICの標準を切る。62.00mを投げる。	自信の向上とモチベーションの向上が得られる。また、自分の努力を肯定できることで精神的な安定にもつながる。
2	田口 慶達	やり投: 70.50m (8/8)	日本IC 出場 U20 優勝	まずは怪我を治してPBを更新する。また、U20でタイトルを獲る。	2年次: 日本IC出場。U20で70m投げて優勝。 3年次: 日本IC74.80m以上。日本選手権出場。 4年次: 日本IC76m以上TOP3。日本選手権入賞。	達成することで自己満足ができ、また全国大会でタイトルを取ることので体大の名前を全国に広げることができる。
2	牛尾 壮太	やり投: 67.00m	九州新人 優勝	怪我をしない、自己ベストを必ず更新して来年度に繋げる良いシーズンにする。	2年次: 九州ICで65mで入賞。 3年次: 日本IC B標準突破。 4年次: 鳥根県記録(74.39m)更新。	達成することで、高校時代に全国入賞という目標を掲げていたが達成できなかったことによる悔いが晴れ、自己満足ができるため。
1	太田 柚希	円盤投: 44.00m (九州新人)	U20 出場	44.00mを投げてベスト更新する。	1年次: 44.00m(九州学生新人) 2年次: 46.00m(西日本IC A標準突破) 3年次: 48.00m(日本IC入賞) 4年次: 50.00m(日本IC優勝)	私は全国大会で入賞することに大きな憧れを持っている。憧れで終わらないように全国で戦い抜ける実力をつける。そして全国の舞台で大活躍し、優勝できる選手になる。
1	岡野 優	やり投: 48.10m	九州新人 3位以内入賞 U20 出場	U20日本陸上選手権大会の標準を突破して出場し、これからの競技人生に弾みをつけたい。また、支えてくださっている周りの方々に結果で恩返ししたい。	1年次: 48.10m(U20日本陸上選手権大会出場) 2年次: 50.00m(日本IC出場) 3年次: 54.00m(西日本IC優勝) 4年次: 58.00m(日本IC3位以内)	日本ICで表彰台に上ることが、高校時代の全国大会入賞という目標を達成できなかった悔しさを晴らし、高校時代の恩師に恩返ししたいから。
1	山下 快斗	やり投: 63.00m	九州新人 5位以内入賞	今年度は、まず怪我を治し、自分の投擲の動画から自己分析して、投擲フォームの改善に努めていきたい。	1年次: 63.00m(九州学生新人) 2年次: 65.00m(九州IC) 3年次: 68.00m(西日本IC) 4年次: 70.00m(日本IC)	高校生の時にやり投で全国大会に出場できたが、上位を目指せる力がなかった。そのため、再度大学で全国の舞台に行き、70mという大台の記録に挑戦したいから。
1	原村 真彩也	ハンマー投(7kg): 56.00m ハンマー投(6kg): 62.00m	U20 8位入賞	U20のターゲットナンバーに入る記録を投げ出し、高校で負けたリベンジを果たす。徹底して基礎を作り、来年度の西日本ICに出場できるようにする。	1年次: 56.00m 2年次: 59.00m(西日本IC出場) 3年次: 62.00m(日本IC出場) 4年次: 65.00m(日本IC入賞)	鹿児島県記録の64.35mを超えたいから。今まで出来ていない全国入賞を果たし、支えてくれた人たちに恩返ししたいから。
1	瀬上 遥向	ハンマー投(7kg): 57.00m	U20 入賞	自己ベストを更新し続けて、来シーズンに繋がる土台を作るシーズンにする。	1年次: 57m(西日本IC B標準) 2年次: 60m(西日本IC A標準) 3年次: 63m(日本選手権出場) 4年次: 65m(日本IC3位以内入賞)	高校では全国入賞という目標に強い憧れがあり、高校ではそれを成し遂げられることができず、どうしても達成したいと思ったから。